

## 養成環境下におけるズワイガニ雌ガニの産卵とふ化

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2025-04-24 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 森田, 哲男, 野上, 欣也 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2014549">https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2014549</a>

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



## 養成環境下におけるズワイガニ雌ガニの産卵とふ化

森田哲男・野上欣也

日本海で漁獲されたズワイガニの天然抱卵雌を3°Cで2~3年間養成し、ふ化時期、ふ化幼生数および産卵率を調査した。その結果、ふ化と産卵は年に1度見られ、養成下2~4回目のふ化ピークは1回目と比較して約2~3ヵ月早くなり、長期にわたるふ化幼生の確保が可能になった。ただし、ふ化幼生数は1回目のふ化と比較して2回目は同程度であったが、3回目は減少する場合があり、4回目では顕著に減少した。また、産卵率は養成年数に比例して低下し、その傾向は3、4回目のふ化後に顕著となったことから、大量のふ化幼生を確保するには飼育条件、特に餌料の改善が必要と考えられる。

栽培技研, 31(1), 5-9, 2003